

平成 30 年度 事業報告書

学校法人 エイシンカレッジ
日本ビジネス公務員専門学校

1. 事業報告

① 教育理念・目標

- ・アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーに対する姿勢を示した。
- ・実習先や卒業生から積極的に業界の情報を収集し、学生へ提供している。

② 学校運営

- ・健全な学校運営ができています。
- ・SNS(動画投稿)による問題が社会化している。規定の見直しを実施されている。
- ・高等教育機関に対し、ますます情報の透明性が求められている。厳格かつ適正な公表をする必要がある。

③ 教育活動

- ・成績評価、進級・卒業判定の基準がより具体化された。
- ・人材確保にあたり積極的な採用活動をおこなっている。採用活動と並行して退職者を出さない職場環境作りも励行している。
- ・教員としての資質が定着・向上していける研修を計画している。
(OJT、デュアルシステム、指導教員制度などを具体化していく。)

④ 学修成果

- ・退学者の低減を図るためケア体制を強化したい。(専門カウンセラーの活用など)
- ・学生のメンタル不調は、保護者や地域と連携した施策も必要になってくる。

⑤ 学生支援

- ・「高等教育の教育費負担軽減制度」の確認申請に関し、意欲ある子供たちに学習の機会を与えられるよう機関要件を満たす準備をしている。
- ・社会に優秀な人材を輩出できるよう努めている。
- ・学生本人や保護者、業界、高校など多様な方面と接点を持ち、必要となる支援体制を研究している。

⑥ 教育環境

- ・施設見学（点検）で、学校運営に必要な設備が確認できた。
教員の働く職場環境が整備されている。
- ・今後も施設設備に関する最新動向に注視していきたい。

⑦ 学生の受入れ募集

- ・学生募集活動は適切におこなわれている。
- ・学納金の未納者対応や、納入に関する相談窓口が整備されている。
- ・入学生や卒業生に対しアンケート調査（ニーズ調査）を実施している。

⑧ 財務

- ・公認会計士による会計監査がなされており運営の透明性が確保できている。
- ・財務状況の情報を公開している。今後も社会の要請に応えた財務、経営情報の開示に努める。

⑨ 法令等の遵守

- ・適正である。パンフレット作成時にコンプライアンスに関するチェック項目を設定している。

⑩ 社会貢献・地域貢献

- ・昨今、企業ではコミュニティから外れる人間が多い。キャリア教育を通して社会の一員としての人格形成に努めている。
- ・ボランティアは社会と接点を持てる良い機会であり、上手く利用して仕事のやりがいや、自己肯定感を育めるよう工夫していきたい。